

第17回 62回卒 クラス会

第17回62回卒クラス会が、平成27年10月11日（日）、石川県金沢市ホテル日航金沢で開催されました。当日は「弁当忘れても傘忘れるな」の言い伝え通りの天候となり、より金沢らしさが味わえた日でした。

金沢は平成27年3月14日（土）の新幹線開通に伴い観光や学会、多数のイベントなどで大変賑わいを見せており、地方で開催される卒後クラス会にしては52名の多数の参加がありました。

総会は小谷善夫君の司会で始まり、金沢市の加藤 寿 実行委員の歓迎の挨拶に続き、鴨田博司クラス会幹事長の挨拶の後、片山 修 君が議長に選出され、まずこれまでの物故者33名を偲び謹んで黙祷を捧げました。

前回2年前の東京都での40周年記念クラス会の会務報告があり、会計を近藤健示君より、監査報告が萩原和明君から行われました。次回クラス会の選考にあたり、多数意見が出たのですが最終的に群馬県にお願いすることで満場一致をみました。

次に、藤井重壽校友会副会長より校友会本部報告が行われ、校友会の現状と今後の活動などが説明されました。ちなみに62回卒業生で校友会本部役員をされているのは

9名を数え、校友会の中核として活躍されております。

続いて記念集合写真撮影の後、懇親会に移り梅平 進 実行委員の司会により懇親会が和やかに行われました。鴨田幹事長の乾杯の発声に続き、まず今もって現役で空手の修練をしている宮本博一君、平沢孝俊君の空手型のアトラクションに始まりました（さすが決まっていました）。また今回は実行委員の趣向で金沢らしさを是非皆様に、ということで金沢東茶屋街の「やま富」より芸妓さん呼びました。

金沢弁の彼女らとの会話に続き踊り、太鼓など大変な賑わいを見せ、好評な懇親会となりました。芸妓さんの舞の後に会員も何人か舞台上がり太鼓を打って、お茶屋さんの雰囲気を楽しみました（集合写真に芸妓さんも参加しております）。

その後、宮本君・片山君の指揮による校歌とエールのあと閉会となり、会場をホテル日航金沢30階のグランシャリオにて夜景を見ながら二次会が開かれました。過ぎ去った懐かしい大学時代の思い出話や近況を語り合い、2年後の群馬県での再会を楽しみに散会しました。

（加藤 寿 記）



第17回 62回卒クラス会 平成27年10月11日 於 ホテル日航金沢